

学力向上に効果のある取組事例

大分大学教育学部附属中学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

研究主題 見通しと振り返りの往還による授業改善
～「思考力・判断力・表現力等」の評価方法の充実～

育成したい「思考力・判断力・表現力等」を明確した単元計画を作成

- (1) 単元の中で、育成をめざす『資質・能力』を明確にする。
- (2) 「思考力・判断力・表現力等」を働かせることのできる活動を設定する。
- (3) 働かせた「思考力・判断力・表現力等」を可視化できる方法を設定する。(ワークシート等の工夫)
- (4) 評価基準 (B・A) を設定する。

(1)

(2)

(3)

(4)

単元の振り返り (授業者)

単元計画作成 (単元プランシート)

単元名:	「パリ 2024 オリンピック・パラリンピックの若年層の興味関心度を大調査」 【レポートを書く】根拠を明確にして自分の伝えたいことを書くこと。
単元目標:	確かな根拠を示した説得力のあるレポートを、各自が仮説を立て考察を導き出す学習を通して書くことができる。
知・技:	①情報を関連付ける整理の仕方や、引用の仕方、出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(情報の扱い方に関する事項(2)イ)。
評価規準	①目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(書くこと(1)ア)。 ②自分の考えをまとめる資料やデータを選び根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。(書くこと(1)ウ)。
主体:	①自分の考えを裏づける、確かな根拠となる資料やデータを取捨選択しようとしている。 ②文章の構成や展開の仕方を振り返り考えレポートを作成しようとしている。 ③レポートの作成を通して、この授業で学んだことを言語化している。

	学習内容	評価計画		
		知・技	思・判・表	主体
1次 (1時)	・「オリンピックに関する資料」を読み解き、オリンピックへの関心を高め学習の見通しをもつ。 ・自分の課題を設定し、仮説を立てる。			●(1時)観察
2次 (2・3時)	・自分の仮説を考察するための情報を整理し分析する。 ・資料やデータと自分の考え(考察)をまとめる。 ⇒資料やデータを取捨選択し、自分の根拠が明確になるようにする。	●(2時)ワークシート	●(2時)ワークシート	①(2時)ワークシート
3次 (4~6時)	・自分の考えを明確にした考察にするためには、どのように資料やデータを取捨選択する必要があるか考える。【本時】 ⇒例題を用いて根拠を元にした考察とはどのようなものなのか考え、自分の考察を考え直す。 ・レポートの推敲。 ⇒前時を振り返り情報の精査及び考察を推敲した上で、交流を通して自分の考えを完成させる。 ・レポートを消書きする。(PCを使用する)。	①(6時)レポート用紙	①(4~5時)ワークシート ②(6時)レポート用紙	①(4~5時)ワークシート ②(6時)レポート用紙
4次 (7時)	・レポートを交流する。 ・ワークシートを用いて、単元の振り返りを行う。			③振り返りシート

	評価基準(思考・判断・表現について)	
	B	A
①	自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができている。その根拠と考察に一貫性がある。	自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができている。根拠と根拠を関連づけた上で考察に一貫性をもたせている。
②	資料やデータを引用することで、考察が説得力のあるレポートになっている。	資料やデータを引用することで、課題から考察が一貫した説得力のあるレポートになっている。

取組の具体②

単元プラン作成 ➡ ①授業者の振り返り
授業の中でどのように思考し、判断していたかを生徒から聞く

②学習者の記述等の提示

評価基準B・Aの設定の具体が示され、本当にその設定が適切だったのかを検証する

校内研究の視点

1. 「思考力・判断力・表現力等」の育成できる場面が設定されていたのか
2. 評価材料は適切であったのか
3. 評価基準(もとじゅん)は適切であったのか

➡ 教科部会で授業改善の方針を共有

【研究授業】

①事後研での学習者の発言



②学習者の記述 (B・Aの具体的に示す)

